

【経営理念】

乳幼児期にふさわしい生活や遊びを通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培い、生きる力を育む。

【保育目標】

- ☆ 子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開
- ◆ 資質向上をめざし、意欲的に経営に参画する職員の育成
- ◎ 保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

【目指す子ども像】

- ☆ 丈夫な身体を持った子ども
- ☆ のびのびと表現する子ども

- ☆ 仲間を大切にする子ども
- ☆ 好奇心や探究心を持つ子ども

保育目標を達成するための重点目標と具体的な方策

☆ 子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開

1. 乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実をめざす。

- ① 子どもたち自身が好奇心や探究心をもって主体的に環境に働きかけて遊べるよう、子ども一人一人の発達に即した環境構成や援助を行う。
- ② 自分のやりたいことを実現する中で、健康で安全な生活をつくり出す力を培う。
- ③ 基本的な生活習慣の確立を目指す。

2. 友だちや周りの人たちと関わる活動を通して、人と関わる力を培う。

- ① 友だちや保育者、地域の人たちと関わる機会を多く取り入れ、人と関わる力を育てる。
- ② 友だちと協同する体験を通して、人の話を聞いたり自分の思いを伝える力を培うと共に、人を思いやる心を育てる。
- ③ 友だちと様々な体験を重ねる中で、自分の気持ちを調整したり、ルールを守る力を育てる。

3. 身近な環境と関わる中で、豊かな感性を育てる。

- ① 様々な人や物、自然と関わる中で感じた子どもたちの感動を受け止め、それらを子どもたちと共有することにより、子どもたちの豊かな感性を育てる保育を行う。
- ② 生活経験や発達に応じて、子どもたちが様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮することができる環境構成や援助を行う。

◆ 資質向上をめざし、意欲的に経営に参画する職員の育成

1. 職務分担が適切に機能し、子どもたちの為に職員がお互いに協同する保育を構築する。

- ① 定期的に分掌事務の進捗状況を確認する。
- ② 子どもや保護者の様子について情報を共有し保育内容を考えていく。

2. 専門性の向上に努める。

- ① 園内研修の充実を図る。
 - ・指導計画を作成し、職員間で協議する。
 - ・保育実践の振り返りと評価を行う。
- ② 研修に参加し職員間で内容を共有し主体的に取り組む。

◎ 保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

1. 保護者や地域に開かれた保育所づくりに努め、信頼される保育所をつくる。

- 子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる。

2. 保幼小連携の取り組みを推進する。

- ① 保幼小中高連携教育推進協議会に参加し、職員間の交流を図る。
- ② 一日入学や体験学習を実施し、小学校との連携を図る。

3. 地域に対して子育て支援を行う。

- 子育てについての情報を発信する。

中期経営目標

- ☆子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開
- ◆資質向上をめざし、意欲的に経営に参画する職員の育成
- ◎保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

令和4年度の重点目標	令和5年度の重点目標	令和6年度の重点目標
☆身近な環境と関わる中で豊かな心と丈夫な身体を育てる ◆職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る ◎保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり	☆身近な環境と関わる中で豊かな心と丈夫な身体を育てる ◆職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る ◎保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり	☆表現する楽しさや喜びが実現できる教材開発と環境づくり ◆共通課題に向かう職員の協働体制の構築と園内研修の充実を図る ◎保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり
評価項目	評価項目	評価項目
☆保育・教育の環境構成 ・子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う ☆保育展開 ・年齢にあった本選びや読み聞かせの場を設定する ◆安全管理 ・子どもが安心して過ごすことができる安全環境を整える ◆研修 ・研修内容を共有し職員が協力して課題に取り組む ◎保護者との連携 ・保護者を対象とするアンケート結果から保育を考える ◎保護者への支援 ・在園児の保護者に対して子育てを支援する	☆指導内容・方法 ・十分に体を使って遊ぶ ☆保育・教育の環境構成 ・子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う ◆組織運営 ・日々の保育や子どもたちの様子等について、報告・連絡・相談に努め、情報を共有する ◆研修 ・研修内容を共有し、職員が協力して課題に取り組む ◎情報提供 ・園便りやクラス便りを発行し、保育への理解を深める ◎保護者との連携 ・子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる	☆環境構成 ・子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う ☆教材開発 ・保育室内外の材料・道具の研究・積極的な揭示を行う ◆組織運営 ・園務分掌を整理し、職員の話し合いを通して責任の区分や役割を明らかにする ◆研修 ・研修で学んだことを職員全体で共有し、保育実践や保育所運営に生かしていく ◎情報提供 ・お便りやアプリを活用し保育所に関する情報を発信する ◎保護者との連携 ・子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆ 保育・教育活動の充実	表現する楽しさや喜びが実現できる教材開発と環境づくり	〔環境構成〕 子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う	4 他クラスの活動や保育の中で大切にしていることを知り、保育の環境構成の設定や調整をする		4 自分たちが始めた遊びを発展させながら遊びを繰り返すようになった子ども 75%以上		
			3 季節やその時期に大切にしたいこと等を踏まえ、子どもの感性をくすぐるような壁面等、環境を整える		3 65%以上		
			2 子どもの活動や活動の状況に応じて環境の再構成を行う		2 50%以上		
			1 一日の活動に必要な道具・用具、素材等の準備する		1 50%未満		
		〔教材開発〕 保育室内外の材料・道具の研究、積極的な指示を行う	4 月1回以上		4 半数以上の子どもが、担任が提示した素材や道具を自分たちの遊びに活用して遊ぶ		
			3 月1回程度		3 半数以上の子どもが担任が提示した素材や道具を使って遊ぶ		
			2 2か月に1回程度		2 半数以上の子どもが担任と一緒に素材や道具を使って遊ぶ		
			1 学期1回程度		1 半数以上の子どもが担任が提示した素材や道具に興味を持って触れてみる		
◆ 職員の育成・資育向上や運営	共通課題に向かう職員の協力体制の構築と園内研修の充実を図る	〔組織運営〕 園務分掌を整理し、職員の話し合いを通して責任の区分や役割を明らかにする	4 職員会(月2回)で日々の保育や子どもの様子について報告し、共有する		4 報・連・相に努め情報を共有しようとする職員 90%以上		
			3 計画や記録をきちんととり、定期的に提出する		3 75%以上		
			2 必要に応じて、臨時の職員会を行なう		2 50%以上		
			1 日頃から職員間で子どもに関する話をする		1 50%未満		
		〔研修〕 研修で学んだことを職員全体で共有し、保育実践や保育所運営に生かしていく	4 研修内容を共有して課題を出し合い、全職員が協力して課題に取り組み保育を向上させていく		4 研修内容を話し合い協力して保育の実施向上することができる		
			3 研修内容を共有し、協力して課題に取り組む		3 保育の課題を共有し課題に取り組む		
			2 定期的な職員会や必要に応じて会議を行い課題を出し合う		2 職員会を開き職員同士課題を共有する		
			1 回覧や口頭で知らせる		1 研修内容を職員会で知らせる		
◎ 地域に開かれた園づくり	保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり	〔情報提供〕 お便りやアプリを活用し保育所に関する情報を発信する	4 週1回以上発行		4 (3に加え)より保護者が見やすいような紙面環境である		
			3 2週間に1回程度発行		3 (2に加え)子どもの活動内容に発達の見点や意図が加えられている		
			2 3週間に1回程度発行		2 (1に加え)子どもの活動を伝える内容がある		
			1 月に1回程度発行		1 お便りの内容がお知らせや予定だけである		
		〔保護者との連携〕 子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる	4 必要に応じて家庭訪問や個別面談を行なう		4 子育ての中で感じる喜びや不安、悩みをよく話してくれる保護者 90%以上		
			3 子どもの様子や子育てについて連携・共有できる機会を設ける		3 75%以上		
			2 登降所時に子どもを中心とした話をする		2 50%以上		
			1 保護者に進んで挨拶し、話しかける		1 50%未満		